

一般社団法人真山舎 (所在地：東京都)

事業名

「リカバリーの学校@くにたち」と共生ネットワークの創設

事業の趣旨・目的

- ・「**キョウドウを生きる暮らし**」を実現するために、しょうがいしゃと市民が地域で共につながる学びの場を共創する。
- ・学びのキーワードは、**対話(言語/非言語)**を通じた「**リカバリー**」と、「**キョウドウを生きる**」ための共生圏を地域に拡げる「**回遊性/越境性**」。
- ・事業成果や研究成果を共有し、**教育と福祉の関係者のつながり**を生み、**地域の共生ネットワークづくり**を推進。

事業実施体制・連携先

実行団体：一般社団法人真山舎／連携：国立市公民館、bumpo-伴歩-／連携協議会：リカバリーの学校@くにたち学習者（しょうがい当事者）、一橋大学大学院社会学研究科教授、「リカバリーの学校 調布校」主宰者、国立市しょうがいしゃ支援課職員、国立市公民館社会教育主事、大学院生ボランティア、国立市社会福祉協議会CSW、ソーシャルワーカー、一橋大学研究補助員・DIY工房運営

主な対象

精神しょうがい・知的しょうがい・その他

※国立市の行政表記に倣い、固有名詞以外はすべてひらがな表記

事業の取組内容

言語対話型プログラム・非言語対話型プログラム・当事者参画型プログラムによる「リカバリー」の学び

A) 言語対話型プログラム

①リカバリーについて学ぶ連続講座「リカバリーの学校」（全7回）

“言いっぱなし”“語りっぱなし”を基本とする対話の場に累計**101**名が参加。4名の学習者（ボランティア参加）と共に運営。

②連続講座「共に学ぶ対話のレッスンーコミュニケーション力を引き出すー」（全4回）

対話的な場を「非日常の安心安全」から「日常の対話をどうすればよいのか」という視点から講義や個人・グループワークでコミュニケーション・対話について学ぶ連続講座に累計**59**名が参加。

B) 非言語対話型プログラム

③スポーツ講座「いろんな人と共に楽しむ『ダイバーシティサッカー』をやってみよう！」（3回）

しょうがい当事者に加え、支援者・大学生・子ども等多様な背景の個人が集う場に、累計**66**名が参加。

C) 当事者参画型プログラム（スピニアウト企画）

④共につくる学びと交流プログラム

学習者自身の「やってみたい」という思いをコーディネーターと共に企画化するプログラム。全**8**回、累計**17**名の学習者が企画者として実施。うち、2つの企画は本プロジェクトから飛び出して自主グループに。

活動の様子



連続講座「共に学ぶ、コミュニケーションと対話のレッスン」でグループごとに対話する様子



連続講座「リカバリーの学校」での対話の様子

その他

一般社団法人真山舎ホームページ



リカバリーの学校@くにたち特設サイト

